

I. 永遠の神には、彼の永遠において、彼の心の願いにしたがった「夢」があり、新約において神のエコミーと呼ばれる計画を立てました：エペソ1:5 みこころの大いなる喜びにしたがい、イエス・キリストを通して、私たちを子たる身分へと、彼ご自身へあらかじめ定められました。9 みこころの奥義を私たちに知らせてくださいました。これは、神がご自身の中で計画された彼の大きい喜びによるもので、10 時代の満了時のエコミー[経綸]へ至るためです。すなわち、キリストの中で、天にあるもの地にあるもの、すべてのものを、彼の中でかしらにつり上げようとされたのです。3:9 それはまた、万物を創造された神の中に、各時代にわたって隠されてきた奥義のエコミー[経綸]が何であるかを、すべての人を照らして明らかにするためであり、

I テモテ1:4 作り話や果てしのない系図に、心をとめたりすることがないように命じなさい。そのようなものは、信仰の中にある神のエコミー[経綸]ではなく、むしろ論議を引き起こすだけです。

A. 「神が人と成り、人が神となること」は、神のエコミーです。

ローマ8:29 なぜなら、神はあらかじめ知っておられた者たちを、御子のかたちに同形化しようと、あらかじめ定められたからです。それは、御子が多くの兄弟たちの間で長子となるためです。

B. 神の永遠のエコミーは、神の永遠の意図と神の心の願いであって、彼の神聖な三一において、ご自身を父として、子の中で、霊によって彼の選びの民の中へと分与し、彼らの命また性質とならせることです。それは、彼らが神の豊満、表現のために彼であるのと同じになることができるためです。

II コリント13:14 主イエス・キリストの恵みと、神の愛と、聖霊の交わりとが、あなたがた一同と共にありますように。

エペソ3:16 どうか御父が、彼の栄光の豊富にしたがい、力をもって、彼の霊を通して、あなたがたを内なる人の中へと増強してくださいますように。17 またキリストが、信仰を通してあなたがたの心の中に、ご自身のホームを造ることができますように。…19 …また、あなたがたが満たされて、神の全豊満へと至るように。

エペソ人への手紙は神聖な分与に関する書です。第1章から、パウロはこの分与について語り始めます。まず父の選びがあり、次に子の贖いがあり、それから霊の適用があります。父は源であり、すべての豊富は父の中にあります。子は父の具体化であって、父であるすべてと、父が持つておられるすべてと、父が行なうことのできるすべては、子の中に具体化されています。さらに、子は実際化されて霊となっています。ですから、子は父として来ます。そして、霊は子として私たちの中へと入ります。

C. 神の永遠のエコミーとは、神格においてではなく、命と性質において人を神であるのと同じにし、神を人と一にならせ、人を神と一にならせて、こうして神を表現において拡大し、拡張させることです。それは、神のすべての神聖な属性が人の美德において表現されるためです。

D. 私たちはこの時代の終わりににおいて、神が人と成ったのは、人を神とするため、すなわち、神格においてではなく、命と性質において人を神であるのと同じにするためであるという真理を教え、宣べ伝えています。この真理を聞くことは大きな祝福です。

II. 神が私たちが創造したのは、彼のエコミーを完成するためであり、その目的は、私たちが神格においてではなく命と性質において神となって、神を表現することです:

啓4:11「私たちの主また神よ、あなたは、栄光と尊貴と力とを受けるにふさわしいです。あなたは万物を創造され、あなたのみこころのゆえに、万物は存在し、創造されたからです」。

エペソ1:4 すなわち、この方は、愛の中で、御前に聖く傷のない者になるようにと、世の基が置かれる前から、キリストの中で私たちを選び、5 みこころの大いなる喜びにしたがい、イエス・キリストを通して、私たちを子たる身分へと、彼ご自身へあらかじめ定められました。

A. 神には心の願いと定められた御旨があります。すなわち、神はご自身を人とし、人を神としたいのです。それは、神と人の二者が、命、性質、表現において同じになるためです。

B. 神は宇宙を創造し、彼の心の願いである人を中心としました。この心の願いは、神と同じ種類である人以外の何ものでもありません。人は増えて、全地を満たします。

創1:26 それから、神は言われた、「われわれのかたちに、われわれの姿にしたがって、人を造ろう。そして彼らに、海の魚と空の鳥と家畜と全地と地を這うすべての這うものを治めさせよう」。

C. 神は人を神のかたちに、神の姿にしたがって創造しました。ですから、人はそれ自身の種類にしたがって創造されたのではなく、神の種類にしたがって創造されました:

1. 神は人類を創造したのではありません。そうではなく、神は人を神類(カイル)にしたがって創造しました。
2. 神の観点からすると、「人類」という言葉は消極的な用語です。なぜなら、人類はあるはずはなく、神類として神によって創造された人だけがあるはずであるからです。
3. 人は墮落の後、神から離れ、人類となりました。

D. 最終的に、神は人に、すなわち、神・人イエスに成りました。この神・人は、彼の死と復活を通して、ご自身を複製しました:

1. 神が人と成ったのは、ご自身の大量の複製を得て、そうして新しい種類を生み出すためでした。この新しい種類は、神類でも人類でもなく、神・人類(かみひとるい)です。
2. 私たちはキリストにある信者として、神・人類、すなわち神・人です。ヨハネ1:12 しかし、すべて彼を受け入れた者、すなわち、御名の中へと信じる者に、彼は神の子供たちとなる権威を与えられた。13 これらの人は血からではなく、肉の意志からでもなく、人の意志からでもなく、神から生まれたのである。

主イエスは神のひとり子として一粒の麦であり、私たちを多くの麦、彼の多くの「双子」、彼の多くの兄弟たちとし、ブレンジングされて一つパン、一つからだとなりました。私たちの間には、国籍や人種や社会的地位の違いはありません。私たちは新しい種類、「神・人類」です。

3. 神が今日、願っているのは、神・人の多くの群れです。この神・人の群れは、一人の新しい人、団体の神・人であって、神のかたちを帯び、神を表します。

エペソ2:15 数々の規定から成っている戒めの律法を、彼の肉体の中で廃棄されたからです。それは、彼がご自身の中で、二つのものを一人の新しい人へと創造して、平和をつくるためであり、

4:24 また、あの実際の義と聖の中で、神にしたがって創造された、新しい人を着たのです。

コロサイ3:10 新しい人を着たのです。その新しい人は、それを創造された方のかたちにしたがって全き知識へと至るように、新しくされつつあるのです。11 その新しい人には、ギリシャ人とユダヤ人、割礼と無割礼、未開人、スクテヤ人、奴隷、自由人はあり得ません。キリストがすべてであり、すべての中におられるのです。

テモテへの第一の手紙第3章16節の文脈によれば、「敬虔」はうやうやしさを指すだけでなく、神が召会の中で生きること、すなわち、命としての神が召会の中で生かし出されることを指しています。敬虔とは、神が人と成り、人が神となることを意味します。これは宇宙における偉大な奥義です。神が人と成ったのは、人が神となって、団体の神・人を生み出し、新しい人として神が肉体において現されるためです。

この団体の神・人が成長するのは、キリストの有機的なからだを建造して、神の永遠のエコノミーを完成するためです。神の現れはキリストのからだによって可能になります。キリストのからだは神の現れであり、神の永遠のエコノミーを完成するためです。私たちの天然の自己がどれほど建て上げられることができたとしても、また私たちの天然の能力がどれほど培われることができたとしても、私たちは決して神の現れとなることはできず、決してキリストのからだの一部分となることはできません。これは神・人の責任でなければなりません。

神・人は神から生まれて神の命と神の性質を持ち、ミングリングされた命によってミングリングされた性質の中で生活し、神の現れとしてのキリストのからだを建造します。これが聖書の啓示です。私たちが人の哲学や宗教から受けた天然の観念は、聖書の啓示ではありません。聖書はこの事を教えていません。聖書が教えているのは、人は神から生まれて神・人とならなければならず、この神・人が育てられ、成長しなければならないということです。

聖書は決して、多くの新しい人がいるとは言っていません。聖書は、ただ一人の新しい人がいると言っています。この一人の新しい人は個人ではありません。彼は団体の人であり、この団体の新しい人はすべての神・人の集大成です。すべての神・人を一緒にするとき、一人の人があります。この一人の人は「新しい人」と呼ばれており、これは新しい人類を指しています。アダムは古い人類でした。彼のすべての子孫は彼と一であり、古い人です。今日私たち、キリストにある信者は、みなキリストと一であり、新しい人となります。

Ⅲ. 神と人はキリストの中で、一つの実体に、すなわち、神・人になりました：

ヨハネ1:14 そして言は肉体と成って、私たちの間に幕屋を張られた。それは恵みと実際に満ちていた。

私たちは彼の栄光を見た。それは、父からのひとり子としての栄光であった。

マタイ1:18 さて、イエス・キリストの由来はこうであった。彼の母マリアは、ヨセフと婚約していたが、彼らと一緒にいる前に、聖霊から身ごもっていることが見いだされた。20 彼がこれらのことを思い巡らしていると、見よ、主の御使いが夢の中で彼に現れて言った、「ダビデの子、ヨセフよ、…彼女の中に生まれたのは、聖霊からです。21 彼女は男の子を産みます。あなたは彼の名をイエスと呼びなさい。彼は自分の民を、彼らの罪から救うからです」。22 さて、このすべてのことが起こったのは、主が預言者を通して語られたことが、成就するためである。それはこう言っている、23 「見よ、処女が身ごもって男の子を産む。人々は彼の名をインマヌエルと呼ぶ」(インマヌエルは、神われらと共にいますと訳される)。

A. 主イエスは、神聖な本質をもって胎に入り、人の本質をもって生まれたので、神・人として生まれました。このゆえに、彼は神・人として二つの本質を、すなわち、神聖な本質と人の本質を持っていました。

神・人は神聖な本質をもって聖霊から胎に入り、人の本質をもって人の処女から生まれたので、彼は二つの本質を、すなわち神聖な本質と人の本質を持っています。神聖な本質と人の本質との両方をもって成就された、人の処女の中で聖霊からのそのような受胎は、神聖な性質と人の性質とのミングリングを構成して、神・人を生み出しました。この神・人は、神全体であり、また完全な人でもあり、神聖な性質と人の性質を区別して持っていますが、第三の性質を生み出すことはありません。これはキリストの肉体と成ることにおける、キリストの最もすばらしく、最も卓越したパーソンです。

ミングリングという言葉の第一の定義は、「(一つのを他のものと、あるいは二つのもの、あるいはそれ以上のものを共に)結合させる、あるいは結び付けること、特に本来の要素は結び付けられた後も区別されたままであること」です。この定義によれば、二つまたはそれ以上のものが共にミングリングされても、本来の性質は失われず、区別されたまま残ります。これは確かに神・人であるキリストの状況です。彼は二つの本質、すなわち神聖な本質と人の本質から胎に入りました。ですから、彼は神と人とのミングリングです。しかし、彼の中の神聖な本質と人の本質は両方とも区別されたまま残っています。これらの本質は彼の中でミングリングされて一人のパーソンとなっていますが、第三の性質が生み出されることはありません。

B. 人の処女の中で聖霊から身ごもることは、神聖な性質と人の性質とのミングリングを構成して、神・人を、すなわち、神全体でもあり完全な人でもある方を生み出しました。

ルカ1:35 御使いは彼女に答えて言った、「聖霊があなたに臨み、いと高き方の力があなたを覆うでしょう。それゆえ、生まれる聖なるものは、神の子と呼ばれます。

C. この神・人は、完全な人また神全体として、人の性質と美徳を持っており、神を内容とし、神聖な属性をもって神を表現します。

IV. 始めに、聖書は神・人について語っています。この神・人は今日、神・人たちとなりました:

ローマ1:3 彼の御子に関するものです。この方は、肉によればダビデの子孫から生まれ、4 聖別の霊によれば、死人の復活から、力の中で神の御子と明示された私たちの主イエス・キリストです。

8:16 その霊ご自身、私たちの霊と共に、私たちが神の子供たちであることを、証ししていただきます。

8:29 なぜなら、神はあらかじめ知っておられた者たちを、御子のかたちに同形化しようと、あらかじめ定められたからです。それは、御子が多くの兄弟たちの間で長子となるためです。

ヘブル2:10 万物がその方のために存在し、万物がその方を通して存在する方が、多くの子たちを栄光へ導き入れるのに、彼らの救いの創始者を、苦難を通して成就されるのは、彼にふさわしいことでした。

11 聖別する方と、聖別されつつある者たちは、すべてひとりの方から出ているのであり、それゆえに主は、彼らを兄弟と呼ぶことを恥とされないで、

「三一の神」という用語を聖書の中に見いだすことはできませんが、聖書を研究する者はほとんどすべて、全聖書が三一の神を啓示していることを承認しています。同じ原則で、私たちは「神・人」という用語を聖書の中に見いだすことはできませんが、神・人の事実、実際が聖書の中にあります。

A. 最初の神・人である主イエスは、多くの神・人を生み出すための原型です。多くの神・人は彼の複製です。

I ペテロ2:21 あなたがたが召されたのはこのためです。なぜなら、キリストもあなたがたのために苦しみを受け、あなたがたが彼の足跡に従うようにと、原型を残されたからです。

神・人は神から生まれた者です。キリスト教にはある神学があって、私たち信者が神の子たちとなったのは誕生によるのではなく、養子によると人に告げています。この神学によれば、私たちは神から生まれたのではなく、ただ神によって養子にされただけです。しかしながら、聖書によれば、私たち、キリストにある信者はみな、神から生まれて神の子たちとなりました。神の子たちとして、確かに私たちは神・人です。私たちは、私たちを生んだ方と同じです。神から生まれているのに、神の子たちではないというのは不可能です。私たちは神の子たちですから、神・人です。

B. 神は人と成り、ご自身の大量の複製を得て、それによって新しい種類を生み出しました。この新しい種類は、神・人類です。ローマ8:3 律法が肉のゆえに弱くて、なし得なかったので、神は、ご自身の御子を罪の肉の形で、罪のために遣わし、肉において罪を罪定めされました。

キリストは十字架につけられた人の生活をすることによって人の生活を経過し、神聖な命を表現しました。… 私たちは、私たちの生活が十字架につけられた生活でなければならないことを認識する必要があります。私たちはいつも自分たちの人の命を死に渡さなければなりません。これが人の命を十字架につけることです。その目的は神聖な命を表現するためです。私たちの人の命は十字架につけられなければなりません。それによって神聖な命(これも私たちのものです)は表現されることができます。このようにして、私たちは生きるために死につつあるのです。すなわち、私たちは神に生きるために自分自身に死につつあるのです。

C. 神・人である主イエスは、多くの麦粒を彼の複製として生み出すために、地に落ちた一粒の麦でした：
ヨハネ12:24 まことに、まことに、私はあなたがたに言う。一粒の麦が地に落ちて死ななければ、それは一粒のままである。しかし、それが死んだなら、多くの実を結ぶ。

1. 最初の麦粒は、すなわち、最初の神・人は原型でした。死と復活を通してこの一粒の麦によって生み出された多くの麦粒は、すなわち、多くの神・人は、最初の神・人の複製です。
2. 多くの麦粒は多くの神・人として、神の複製です：
 - a. そのような複製は、神を喜ばせます。なぜなら、彼らは神のように見え、神のように語り、神のように生きるからです。
 - b. 神はこの複製の中にいます。神の複製には彼の命、彼の性質、彼の構成があります。
3. 神は彼の御子を遣わしたのは、彼を人と成らせ、神聖な命によって神・人の生活をさせるためでした。このような生活の結果は、神であるのと全く同じである宇宙的な大いなる人、すなわち、神聖な命によって神・人の生活をする団体の人です。ヨハネ6:57 生ける父が私を遣わされ、私が父のゆえに生きているように、私を食べる者も、私のゆえに生きる。

D. 私たちは、神・人であり、神から生まれ、神の命と性質を所有し、神の種類に属していることを見る必要があります：

1. 私たちは神の子供として、神・人です。私たちは、私たちが生んだ方と同じです。
Iヨハネ3:1 見よ、何という愛を、御父は私たちに与えてくださったことでしょうか。それは、私たちが神の子供たちと呼ばれるためです。そして事実そのとおりです。このゆえに、世の人は私たちを知りません。それは、世の人が彼を知らなかったからです。5:1 イエスがキリストであると信じる者はすべて、神から生まれています。そして生んでくださった方を愛する者はすべて、彼から生まれた者を愛します。
2. 私たちは神から生まれてきたので、神格においてではなく、命と性質において神であると言うことができますし、また神であると言うべきでさえあります。
3. 私たち自身を神・人であると考え、私たちがだれであるかを知り、認識することは、私たちの日ごとの経験において私たちを徹底的に変えます。
Iヨハネ5:13 私がこれらの事をあなたがたに、すなわち、神の御子の名の中へと信じているあなたがたに書き送ったのは、あなたがたが永遠の命を持っていることを知るためです。

私たちが自分を神・人と考えるとき、この考え、この認識は、私たちの日常の経験に大変革をもたらします。

4. 私たちは単にクリスチャンやキリストにある信者であるだけでなく、神・人、神・人類、神の複製です。これは神の福音の最高点です。

① 神はアダムと彼の妻を創造し終えた後、造ったすべてのものを見ました。神が地とその上にあるすべてのものを見た時、アダムとエバだけが彼の喜びであり、彼の「趣味」でした。彼らだけが神を幸いにするのができたのは、彼らだけが神の種類であったからです。神はアダムを見た時、「私は人を見てうれしい。これこそ私の趣味であり、私の種類である」と言われたかもしれませんが。しかしながら、神の趣味は完成にはほど遠かったのです。なぜなら、その時、人は神のかたちと神の姿を持っているだけで、神の命と神の性質を持っていなかったからです。人は神のかたちを持っていましたが、神ご自身を持っていませんでした。

神の見方からすると、「人類」という言葉は消極的な用語です。なぜなら人類はあるはずはなく、神類として神によって創造された人だけがあるはずであるからです。しかしながら、人は墮落の後、神から離れ、人類となりました。この墮落を通して、サタンが入って来て問題をひき起こし、全世界は混乱に陥りました。

家庭の中の様々な問題や混乱を解決するために、あなたは墮落した人類の生活から神に頼り、神と結合した神・人類の生活に回復される必要があります。アダムとエバは神の創造において神のかたちを持っていましたが、まだ再生されていなかったため、神の命を彼らの内側に持っていませんでした。しかし、今日信者であるあなたは神のかたちを持っているだけでなく、内側に神の命を持っています。あなたがこの事実を認識し、夫婦の会話において神・人の生活を実行するとき、神はなんと喜ばれることでしょう。また、サタンは大いに辱められるでしょう。あなたはあなたのビジネス・ライフやファミリー・ライフ、特に夫婦の関係において、神・人の生活をするという高い目標を持つべきです。なぜならこのことだけが、彼を大いに喜ばせることができるからです。

神・人の生活をするために以下のことを実行してください。

- a. 毎朝復興: 毎朝少なくとも10分から15分を聖別し、兄弟姉妹と共に御言葉を祈り読みし、享受する。
- b. 日々更新: 毎日の生活の中で、たびたび主の御名を呼び、主と交わり、思いが更新される。
- c. 聖書を通読する: 回復訳聖書とフットノートを2年で読み通す。
- d. 自分の観念を下ろし、主とあなたを導いている兄弟姉妹に開いて交わる。主に働いていただくためには必ず開いていなければならない。開いて交わることを訓練する必要がある。
- e. 祈りの集会や小組の集会に参加し、自分の機能を果たす。
- f. 主日を聖別し、主日集会に参加する。

② 私たちが自分を神・人と考えるとき、この考え、この認識は、私たちの日常の経験に大変革をもたらします。例えば、ある兄弟が自分の妻に対して幸いでないといいます。しかし彼が自分は神・人であることを思い出すと、彼の態度は直ちに変わります。そして彼は、神・人の夫になることを願うでしょう。

附5神を経験する—神と人の結合と混ざり合い

- 1 おお何という奇せき、おく義！
かみとひとが混ざり合う！
かみがひとと成るは、ひとがかみとなるため；
天使も世びとも知らぬことよ、
はかり知れないかみのエコノミー、
さい高のもくてき、かみ・ひとの混ざり合い。
- 2 受にくしたかみ・ひとは、
私をかみとならせる；
いのち、性しつおなじ、唯いつしんかくはなし；
しんせいなとくしつはいまや、
私のとくとしてあらわれる；
えい光のみかたち、かみは表げんされる。
- 3 私は単どくでなく、
いま、かみとともに生きる；
かみときょうりよくして、
宇宙のいえを建造する；
キリストの有機てきなからだ、
団たいのおおきなうつわとなり、
さんいちのかみを、うちゅうにひょう現する。
- 4 最しゅうの新エルサレム、
けい示、ビジョンのしゅうたい成、
さんいちの—かみと 三部分から成るひとは、
混ざり合い、ともに住み合って、
ふう婦としてえいえんにいたる；
かみのえいこうは、ひとにてあらわれる。

附5經歷神—神人聯調

- 1 What miracle! What mystery!
That God and man should blended be!
God became man to make man God,
Untraceable economy!
From His good pleasure, heart's desire,
His highest goal attained will be.
From His good pleasure, heart's desire,
His highest goal attained will be.
 - 2 Flesh He became, the first God-man,
His pleasure that I God may be:
In life and nature I'm God's kind,
Though Godhead's His exclusively.
His attributes my virtues are;
His glorious image shines through me.
His attributes my virtues are;
His glorious image shines through me.
 - 3 No longer I alone that live,
But God together lives with me.
Built with the saints in the Triune God,
His universal house we'll be,
And His organic Body we
For His expression corp'rately.
And His organic Body we
For His expression corp'rately.
 - 4 Jerusalem, the ultimate,
Of visions the totality;
The Triune God, tripartite man—
A loving pair eternally—
As man yet God they coinhere,
A mutual dwelling place to be;
God's glory in humanity
Shines forth in splendor radiantly!
- 1 何大神蹟！何深奧祕！
神竟與人聯調為一！
神成為人，人成為神，
天使、世人莫測經綸；
出自神的心愛美意，
達到神的最高目的。
出自神的心愛美意，
達到神的最高目的。
 - 2 神成肉身，來作神人，
為要使我能成為神，
生命、性情與祂同類，
惟我無分祂的神位；
祂的屬性變我美德，
祂的榮形在我顯活。
祂的屬性變我美德，
祂的榮形在我顯活。
 - 3 不再是我單獨活著，
乃是神我共同生活；
並與眾聖神裏配搭，
建成三一宇宙之家，
且成基督生機身體，
作祂顯身團體大器。
且成基督生機身體，
作祂顯身團體大器。
 - 4 最終聖城耶路撒冷，
異象、啟示集其大成。
三一之神，三部分人，
永世對耦是人又神；
神性人性互為居所，
神的榮耀在人顯赫。
神性人性互為居所，
神的榮耀在人顯赫。